野　川　台　自　治　会

あいさつ運動の輪

発　行：野　川　台　自　治　会
発行者：津田知充 野川台自治会長
川崎市宮前区野川3005-8
TEL．044-777-2118
協　力：西野川小学校ＰＴＡ
野川中学校ＰＴＡ
編　集：あいさつ・防犯運動事務局

家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして

こどもたちの声を発端に始まったあいさつ運動、こどもたちの手でつくられた
標語・シンボルマーク、その思いに応え、支え合うコミュニティを皆の手で！

日々の一歩一歩

西野川小学校　校長　**榎本　重次**

青色回転灯車と緑のベスト、校門前で子どもたちと「おはよう」の声を交わしています。雨の日も、暑い日も、寒い日もありました。でも「おはよう」の声は、いつも穏やかです。子どもたちも、地域の方々も出会って「おはよう」の声を交わし合うと自然と笑顔になるのです。三年前の４月の挨拶風景はこうでした。

離れたところから元気な声の「おはようございます」。気恥ずかしそうに少し小声の「おはようございます」。目の前にきて「おはようございます」。ぴょこんとお辞儀をしながら「おはようございます」。

たくさんの「おはよう」に出会いました。今もたくさんの「おはよう」が響き合っています。

学校にみえた方が子どもたちの「おはよう」の挨拶に接し一言、「先生、気持ちいいね」。うれしい一言でした。あいさつ運動に取り組んで３年。継続してこその力です。支えて下さっている皆様に感謝、感謝です。

あいさつ運動の輪のなかで

野川中学校　校長　**今井　　勇**

３年前に赴任して間もないころ、正門で「おはようございます」とあいさつをすると、生徒は「あの人は誰かな」と思いつつも小さな声であいさつを返してくれました。時が経つにつれて、すこしずつすこしずつ大きな声であいさつが返ってくるようになりました。

最近では、小学生が夏は虫かごを持ち「子クワガタ見つけたんだよ」とか、冬は小さな雪の塊を持って「冷たいけど学校まで持って行くんだよ」とニコニコしながら話しかけてくれます。

朝の声かけ

あいさつ運動に参加させていただき、私自身に元気がなかった時、生徒の皆さんからどれ程元気と勇気をいただいたか計りしれません。元気をいただいた生徒一人一人に感謝するとともに「生徒一人一人を大切にしなくてはいけない」と強く思うようになりました。

これからもあいさつ運動が継続され、更にあいさつ運動の輪が拡がるよう微力ながら努めてまいる所存ですので宜しくお願いいたします。

勇壮な西野川どんど焼（西野川小おやじの会）

無縁社会とあいさつ運動への思い

「地域の人とあいさつがしたい」という西野川小学校の児童からの提案が「あいさつ運動」の始まりです。それは平成19年６月でした。当自治会は、学校・PTA、そして警察署・区役所の参加も得て公民協働の基に５～10年のスタンスで運動を進めています。

今朝も、中学校の正門前の通学路で、小学生が中学生のお兄さん・お姉さんのあいさつする姿に影響されたのか負けじと大きい声であいさつをしながら、小走りで通り過ぎて行きます。微笑ましい光景ですね！

今般、西野川小学校が、２回目のあいさつの標語づくりに取り組まれ、そして標語のシール化で宮前区役所からのご支援も頂きました。また野川中学校からは、あいさつ運動を機に福祉まつり等地域への参加・協力も頂いております。この機会に皆様に改めてお礼申し上げます。これからも、「あいさつの輪」の拡がりに努め、無縁社会でなく、人と人との支え合う社会をめざしていきたいと思います。　（野川台自治会長　津田知充）

支え合う地域コミュニティへの期待

― 究極のあいさつ運動は「向う三軒両隣」！ ―

あいさつは不思議な力を持っています（下図）。この力を上手く活用しながら、学校と地域が一緒になってあいさつ運動を進めてきています。今回は、新しい標語づくりの取組とねらいを取り上げてみました。

1　大切にしたいこどもたちの標語！

運動を始めてから３年を経、小・中学校の児童も生徒も元気なあいさつを通じて生き生きとした学校生活につながっていると聞いております。

運動のマンネリ化を防止し「継続は力なり」の言葉を大切にしながら、あいさつ運動の輪の拡がりをめざしていくため、第二弾の標語づくりを西野川小学校にお願いしたところ、校長先生が快く引き受けて下さいました。早速、寄せられた子どもたちの思いのこもった標語の内から、私たちの生活に生かしていくシンボルとしての新しい標語を数多くある中から、２月の自治会定例幹事会で「あいさつのあふれるすてきな街づくり」に決めさせていただきました。

2　あいさつの輪はコミュニティにつながる

現在、校門での朝のあいさつとパトロールを通じた二つのあいさつ運動を、時には警察や区役所も加わって進めてきています。やはり究極のあいさつ運動は、各人の家の前や近所での“あいさつの日常化”にあると思います。つまり隣近所とあいさつを交わすことにより自然と顔見知りになり、時には気遣ったり、冗談を言ったり、さらには笑顔で注意したりする間柄におのずとなっていきます。それは一寸した「お節介おじさん、おばさん」の役とも言えるかもしれません。

その意味では、現代版の「向う三軒両隣」の関係が究極のあいさつ運動の行き着く姿のように思えます。それは、こどもの健やかな成長や地域全体での子育てはもとより、防犯、防災、福祉などコミュニティ活動全体にも通じると受け止めています。（事務局）

○あいさつは魔法の言葉（西野川小のアンケートより）

- ・あいさつをすると気持ちがいい
- ・あいさつをすると笑顔になる
- ・あいさつをすると顔見知りになる
- ・あいさつは心をつなぐ魔法の言葉

○あいさつの持つ四つの不思議な力（機能）

- ・こどもの健やかな成長につながる
- ・地域全体での子育てにつながる
- ・泥棒等犯罪の防止につながる
- ・支え合う福祉の風土づくりにつながる（支え合うコミュニティ形成）

青色回転灯車と一緒のパトロール

「割れ窓理論」と安全で快適なまちづくり

― ソフトとハード面から ―

「窓ガラスの割れているのを放置しておくと、他の窓ガラスも壊され、やがて建物全体が荒廃し、犯罪の温床になる」。これは米国の犯罪学者ジョージ・ケリング博士の提唱した「割れ窓理論」です。

この理論を実践した有名な例は、ニューヨークの地下鉄です。落書き消し大作戦、無賃乗車の取り締りにより、きれいで安心して乗れる地下鉄に変貌。日本のケースでは東京ディズニーランドが挙げられています。従業員がゴミをこまめに拾ったり、ちょっとした傷でもペンキを塗り直ししたりすることが来訪者のマナーの向上に繋がっているとのこと。

当自治会でも「割れ窓理論」を意識して、パトロール等のソフト面に合わせてハード面で、ゴミ収集場所の整頓、放置自転車の撤去、公園の草取り・花壇づくり、さらには防犯灯の新設・交換等に地域の人と一緒に頑張っています。特に「この２年、防犯灯がかなり明るくなったね、犯罪防止につながるよ！」との声が多く聞かれます。

防犯灯に係る工事内容	H21	H22
防犯灯の新設（LED, 新省エネ42W等）	32	16
老朽化等での交換（LED, 新省エネ42W等）	26	52
その他（球切れによる蛍光管・グロー交換等）	58	29

ゆるぎない信念と確かな信頼で
高齢者の豊かな生活を支えます。

社会福祉法人
寿楽園
川崎市宮前区野川3134-5
TEL. 044-754-1751
FAX. 044-754-1761

お菓子サロン
La Fontaine
ラ・フォンテーヌ
10:00AM～6:00PM
月曜・火曜・定休
〒216-0001 川崎市宮前区野川3017
PHONE・FAX 044-755-7828

キャラクターの注文にも応じます

あいさつのあふれるすてきな街づくり

心つながる不思議な魔法

今年の書き初めは「おはよう」

西野川小学校６年　平谷　峻也

今年の書き初めは、「おはよう」にしました。新年になると、「あけましておめでとうございます」をよく聞きます。あけましておめでとうございますは、一週間ぐらいで終わってしまいます。

でも、「おはよう」は毎日、毎朝、します。あいさつをし合うと、顔はにっこり、心はかよい合い、きもちのいい朝になります。そして、気持ちの良い一日がむかえられそうな気がします。そんな思いをこめて、「おはよう。」の書き初めをしました。

あいさつであふれる学校

野川中学校２年生活委員長　青木　光輝

野川中のあいさつ運動は、月曜日にサミットメンバーを中心にやっていて、火曜日から金曜日は、生活委員の週番長を中心に各クラス１・２番から順番に週番という形で行っています。

みなさんが思うあいさつは、どんなものですか？あいさつをされたりしたらどう感じますか？ぼくは朝「おはよう」など言ってもらえたらとても気分が良いです。そしてあいさつをするだけで、友達関係の絆を深めることができたり、話したこともない人とも話せたりでき、とてもすばらしいことだと思います。だからぼくはこの野川中学校をあいさつあふれる学校にしたいです。

こどもたちから寄せられた標語

・あいさつで　心つながる良い野川
・あいさつは　世界中のたからもの
・あいさつは　みんなの心を開くかぎ
・おはようで　みんなの心がつながるよ
・あいさつは　心つながる不思議な魔法
・おはようは　すてきな今日がはじまる合い言葉　　他

西野川小学校　朝のあいさつ運動

野川中学校の朝のあいさつ運動

標語づくり“第2弾”に寄せて

あいさつでこどもたちも学校も生き生き…。今回も地域の声に応えて１年生から６年生の全クラスそれぞれで“あいさつ運動”の標語づくりにみんなでワイワイ言いながら取り組みました。

あるクラスでは、「あいさつは気持ちがいい」、「心がひとつになった気がする」という声が聞かれました。でも別のこどもから「あいさつをしても返してくれないと、悲しくなる！」という声もありました。たった一言の「おはよう」という言葉、その言葉の持つ意味の大きさを改めてこどもたちから教えられました。児童ひとり一人の思いが込められている標語を、こどもたち、お父さん・お母さん、学校、地域が手を取り合って、あいさつのあふれる素敵なまちづくりに役立ったら嬉しいですね！

（標語をまとめられた桑山先生談）

みんなで頑張った成果！

西野川小学校PTA副会長　前之園泰子

あいさつ運動が始められて３年になります。その間色々な活動が行われました。車に青色回転灯を付けての巡回、学校までの道に見られるいくつもの標語シール、さらには下校時には緑のベストを着用してパトロールもしてくださっています。あいさつ運動にもたくさんの児童が参加して、大きな声で「おはようございます。」と声かけしています。３年の間に当たり前の風景になっていますが、新しいことを始めるには、大変な努力が必要だったと思います。地域の方々、小中学校の先生方、生徒、児童のみなさんが頑張った成果です。今も継続しているのもみなさんの努力のお陰です。本当にありがとうございます。

春になり、卒業していくみなさん、入学してくるみなさん、あいさつ運動は続きます。新しい場所でも誰にも負けない元気なあいさつをしましょう。あいさつは先手必勝です。

学校と地域のつながり

学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

（文責は編集事務局）

楽しい地域の人との昔遊び

どうやるの！あやとり、かぶと

１年生の三つのクラスが、それぞれ四ぐらいのグループに分かれ、地域の“昔遊びの名人”とこどもたちとの触れ合いの授業が１月14日に行われました。

こま、あやとり、めんこ、お手玉、折り紙、けんだま、かぶと、おはじきなどにこどもたち全員が挑戦し、中には名人を負かすほどになっていました。

「初めてコマをまわせるようになりました。うれしくて、いえでもやっています」、「おりがみをおうちにもってかえったら、おかあさんがびっくりしていました！」、「また、きていろいろなわざをおしえてください」などの声が聞かれました。昔遊びのあと、給食を一緒に食べ　名人21名も、ひとりのおじいちゃん・おばあちゃんになり元気をいただいた一日でした。

（１年生の担任は、中村先生、十鳥先生、野村先生）

中学生の活躍する“福祉まつり”

うまく書けないな！

今年も楽しみながら交流し合う「福祉まつり」が、宮前第一地区社会福祉協議会の主催でこの３月27日㈰野川小学校で開催されます。

昨年から、“支え合う福祉”を目指し、車イスや擬似体験のできる福祉コーナーを新たに設けました。

そのコーナーでは、ベテランのボランティアに交じって、野川中学校のボランティアの生徒が、時には助手として、時にはパートナーとして汗水流してコーナーを支えてくれました。勿論、中学生ボランティアも、時間をみつけて自らゴーグル（特殊メガネ）や手足に重りを付け、高齢者等の体の機能や複雑な心の変化の一端を体験。その中でボランティアとしてどう向き合いサポートしていけば良いのか、その自覚が芽生えていることがひた向きの活動から伺えました。今年もフレッシュな中学生の活躍が期待されています。

（顧問は、濱先生、杉本先生）

ネギラーメン一丁！

真　剣

“ネギラーメン一丁”と少し控え目ながら通る声！野川消防署支所近くの中華料理店「グリーンロード」の昼時の中学生の職場体験二日目の１コマ…。

最初、いらっしゃいませの声が出なく、接客、配膳、皿洗いと時間に追われ、１日があっと言う間に過ぎてしまったとのこと。それでもマスターやおかみさんの後姿を身近に見、学校では体得できないものを学び、きつい面もあったが、すごく楽しかったと目を輝かせていました。一方、お店の方は、この10年ぐらい野川中学生を受け入れています。わずか二日間の職場体験ですが、社会人として当たり前の礼儀を学びながら、日に日に成長していく姿を見ると、ついわが子のように嬉しくなると最後に笑顔で応えて下さいました。

（担当は、京先生、岸先生）

81キロ級“個人戦優勝”

かかり稽古

柔道市体育大会新人戦。81キロ級の個人戦で、野川中の小島君は稲田中と対戦、気合いが入っていることが遠くからもわかり、案の定試合開始“５秒”で相手を払い腰で宙に浮かせ、見事一本勝ちで優勝！その日の個人戦は、男子部員９人のうち６人、女子部員４人のうち３人が県大会に出場という快挙。

しかしその勝因の裏には、前日の団体戦の戦いぶりにあったことが伺えます。女子は順当に３位で県大会に出場することになったものの、男子は１回戦でまさかの敗退、その悔しさがバネになったと言えます。

顧問の先生は、技術面も大事だが、気持ちの作り方を上手くすればまだまだ伸びると感じておられました。今日もチームワークを大切に練習・練習…。

（顧問は、菊池先生、五十嵐先生）

編集後記

あいさつ運動を始めてまる３年、次のステップとして、第二回目の標語づくりに取組むことができましたことは大変嬉しいです。またあいさつ運動を機に、昔遊びや福祉まつり等いくつかの面でも「学校と地域のつながり」が深まりましたが、そんなことも含め、西野川小学校の榎本重次校長先生と野川中学校の今井勇校長先生の多年に渡る日々のご尽力に改めて深く感謝申し上げます。ＮＨＫで無縁社会について取り上げていますが、現代版「向う三軒両隣」の関係をあいさつ運動の中で、「継続は力なり」の言葉を大切に、日々一歩一歩進めたいです。　（原、辻本、後藤、鈴木）